

鳴海宿～宮宿コース

立春も過ぎた2月7日、まだまだ寒さ厳しき日が続いておりましたが、当日は穏やかなウォーク日和となり、鳴海駅北口から『さんさくウォーク』がスタート。

鳴海宿本陣跡から「成海神社」へ、この下辺りは鳴海の字のごとく江戸時代の始まりまでは鳴海潟という浅瀬であったそうです。次に名古屋市内で唯一現存している「笠寺一里塚」、尾張四観音の一つ「笠寺観音」を經由し、宮本武蔵が長く逗留したといわれる「東光院」へ。この辺りの台地が巨松の生い茂る陸の浮島としての「松巨島」(まつこじま)で、その周りの磯を愛知県の名前の由来となったと言われる「年魚市潟」(あゆちがた)といい、知多までも望むことができる「年魚市潟景勝地」(白毫寺)に立寄り、呼続の「熊野三社」前を通り「裁断橋址」から宮の宿へ入りました。日没2時間前には桑名宿への渡し船が出てしまうという「渡し場跡」を見学し三叉の道標から佐屋街道・美濃路を熱田神宮南門まで、さんさくウォークを行いました。

愛知県内の旧東海道のウォークも今回の6回目で全宿場を回ることができました。参加された皆様お疲れ様でした。

実施日 平成27年2月7日(土)

参加人員 22名

主催 一般社団法人 中部地域づくり協会 業務部

コース 鳴海駅前(9:30)～鳴海宿本陣～成海神社～笠寺一里塚～見晴台(昼食)～笠寺観音～東光院～富部神社～あゆち潟景勝地～裁断橋～七里の渡し場跡～熱田神宮南門(15:30 解散)

距離 約10km



成海神社



山王山(鳴海潟の説明)



笠寺一里塚



熊野三社前



七里の渡し場跡



熱田神宮南門(解散)